

日時	発言者	内 容	市場への影響度
6/2	ポールソン 財務長官	「金融マーケットの混乱終焉にはもう数ヶ月時間がかかる」との認識を示す。	ドルが全通貨に対して下落。
6/3	バーナンキ FRB議長	「ドルや安が輸入物価や消費者物価の歓迎できない上昇を招いている」 「インフレやインフレ期待の意味することに注意している」 「現在の政策は適切な位置にある」など、軸足をインフレ対策に置く発言をし、これまでの金融緩和政策の転換を示唆。(講演で)	ドルが全面高となり、NYダウは大幅下落。
6/3	ウォールストリート ジャーナル紙	米大手証券リーマンブラザーズが30億-40億ドルの資本増強を検討していると報道。近く発表される3-5月決算で3億ドル以上の赤字の可能性を指摘。	
6/3	ジョージソロス (米 投資家)	「原油価格はバブルである。」との認識を示す。	
6/4	バーナンキ FRB議長	最近のインフレ率について「望ましい水準よりかなり高い」と、前日に引き続き警戒感を表す。	ドル高へ。円104円後半→105円30レベルに。
6/5	トリシェ ECB総裁	「次回会合で小幅な利上げを実施する可能性を排除しない。」 定例理事会後の記者会見で。	ユーロ/ドル1.54前半から1.55後半へ上昇。 同時にユーロ/円も大幅にユー
6/7	日米中印韓 五カ国エネルギー 相会合	共同声明で原油高は「消費国、産油国双方の利益に反する。」 6/6 NYMEXでの原油大幅高を受けて。	
6/9	ポールソン 財務長官	「為替介入の選択肢を排除しない。」米CNNのインタビューに答えて。 (これまでのドル高誘導から、介入に言及する一歩踏み込んだ発言に)	ドル高へ。
6/9	ガイトナー NY連銀総裁	「ドルの動きを非常に注視している。」	ドル高へ。
6/9	フィッシャー ダラス連銀総裁	インフレ抑制のため利上げが必要になる可能性を示唆。	ドル高へ。
6/9	リーマン ブラザーズ	3-5月期決算の最終損益が約28億ドル(約2900億円)の赤字になるとの見通し発表。同時に、60億ドル(約6300億円)の増資も発表。	
6/10	バーナンキ FRB議長	「米景気減速のリスクは後退した。」とインフレ抑制の決意を改めて示す。	106円台後半から107円台へ
6/10	ブッシュ米大統領	「われわれは強いドルを信じている。」 「経済の相対的な価値が最終的には(ドルの)価値を決める。」とドル安を牽制	106円台後半から107円台へ
6/11	シュタルク ECB理事	「連続利上げを考えているわけではない」	
6/11	ページブック	「経済活動は引き続き弱い」と総括	
6/12	ブロッサーフィ ラデルフィア 連銀総裁	「インフレ期待抑制のため予防的利上げをすべき」と講演で発言。	米債券価格下落(金利上昇) 長期金利が4.2%に急上昇。
6/14	ポールソン 財務長官	G8財務相会合で「米経済は長期的潜在力は強い。ファンダメンタルズを反映すればドルが強くなるのは自然。」	
6/14	ポールソン 財務長官	同時に、「米経済は依然として試練に直面している。」とも発言。	
6/16	リーマンブラザーズ	3-5月期決算の最終損益が約28億ドル(約3000億円)の赤字と発表。サブプライム関連では40億ドル(約4300億円)の損出を計上。	
6/16	ラッカーリッチ モンド連銀総	「インフレは許容できないほど高い。」と発言。	
6/17	ウォール ストリート ジャーナル	米国は秋以前に利上げをする可能性は少ない、と報道。	
6/17	ゴールドマン サックス	米銀は貸倒損出や資産評価損が続くため、今後さらに650億ドル(約7兆340億円)の増資が必要となる可能性があると指摘。	
6/19	シティグループ クリッテンデンCFO	「4-6月期も多大な損出が続くそう。」と発言。	
6/22	サウジアラビア	原油価格の高騰で「サウジは将来的に生産能力を最大で、現在の1.5倍となる日量1500万バレルに引き上げる。」 ジッダで開催された緊急閣僚会合で表明。	
6/25	トリシェ ECB総裁	前回のべた利上げ示唆発言に対して「加えたり、撤回したりすることはない 表明し急激な利上げは無いことを示しながらも、次回の利上げを再度示唆	ユーロ・ドル1.56台から1.57台、 ユーロ・円168円台から169円台へ
6/25	パークレーズ銀行	三井住友、カタール投資庁などから9500億円を増資。	
6/30	ポールソン 財務長官	「強いドルが国益だと信じている」ロシアでラジオのインタビューに答えて。	